

## 伊万里港水域清掃業務委託 ～ NPO法人との協働

協働の相手(名称)	特定非営利活動法人 伊万里湾小型船安全協会		
事業年度	平成19年度～ (19年度は試行)		
県の担当部署	伊万里土木事務所(港湾課)		
県の予算額	500千円	協働の形態	協働型委託

### 目指す姿

- 県(伊万里港港湾管理者)とNPO法人との協働による水域清掃活動を実施することにより、
- ・より少ない経費(県費)で、船舶(特に小型船)の安全航行を確保する。
- ・生活ゴミの回収体験により、ゴミの不法投棄防止や地球環境保全に対する意識の高揚を図る。

### 事業概要

- ・陸上からは回収が困難な岸壁や入り江等の水域を中心に、小型船舶を利用し、海上から浮遊ゴミの回収を行う。(参加者は公募し、ボランティア活動とする。実施期間:7月から10月までの毎月第2土曜日)
- ・河川等からの家庭ゴミの流入を防止するため、学校やこどもクラブ等を通じ、こども達を対象にした不法投棄防止の啓発活動を実施する。(実施期間:7月から10月まで不定期)

### 協働の背景

伊万里湾小型船安全協会は、海上浮遊ゴミによる小型船舶の事故及び海洋汚染を防止するため、JT日本たばこ産業(株)等の協賛を得ながら、シーバード事業として海上清掃活動や不法投棄防止の啓発活動を実施されていたが、県民協働事業として実施した方が事業の拡大及び効果の向上につながるとして、平成18年度の県の協働化テストに提案があり、平成19年度の試行を経て、平成20年度から本格実施(予算化)することになった。

シーバード事業は、陸上から回収できない浮遊ゴミを船舶を使用して回収する事業で、多くの人々、特に子供たちに体験させて環境に関心を持たせ、長い目でみた海の環境改善を目的とした事業です。小型船舶を所有する会員の協力を得て、毎月第2土曜日に活動されています。

なお、事業名称は、「海(シー)のゴミを取る(とり:バード)」から「ゴミ」を取ったら残る「海」と「取る(とり)」を合わせて、「シーバード」事業と名付けられています。

### 協働の内容

- ・実施要領等の作成に対する助言
- ・ハガキによる会員への参加要請
- ・ホームページ、チラシ等による広報
- ・小型船舶の確保、手配
- ・ボランティア参加者の傷害保険加入手続き
- ・活動実施日における事業運営、海上警戒
- ・回収ゴミの処分場への搬送
- ・こどもクラブ等への啓発活動の実施
- ・報道機関への情報提供

- ・実施要領案の作成
- ・県庁内電子掲示板による県職員への広報及びボランティア参加者募集
- ・回収ゴミ搬送用トラックの手配(伊万里市の公用トラックの貸出)
- ・ゴミ処分場の使用料免除申請
- ・参加者へのアンケート実施

特定非営利活動法人  
伊万里湾小型船安全協会

協働

伊万里土木事務所

県民

意識の高揚  
船舶航行の安全

## 活動の様様



## 活動を終えて



## 協働の成果

- ・ 県にとって、一般業務委託より少ない費用(税金)で、事業の効果が得られた。
- ・ お互いのノウハウの持ち寄り等、相互の協力関係が向上した。
- ・ 水域清掃活動には、延べ144名の参加者があり、1トンを超える浮遊ゴミを回収できた。
- ・ こどもクラブ等を対象に実施した啓発活動には、285名の参加があり、参加者からは、きれいな海を守るためにもゴミを捨てないよう心がけたい等、環境保全に対する意識高揚を感じさせる感想文が多数寄せられた。

## 県民のメリット

- ・ 海がきれいになり、小型船の事故防止や海洋汚染防止の一助になった。
- ・ 参加者にとっても、ボランティア活動により、日常業務とは違う形での社会貢献活動ができた達成感を得られた。(参加者へのアンケートでも、事業継続を要望する回答が多かった。)
- ・ 啓発活動に参加したこども達にとっても、清掃活動等を通じ、地球環境保全を考える体験学習の場となった。

## 今後の展望

- ・ ボランティア参加者に実施したアンケート調査でも、事業に対する満足度が高いため、引き続き事業を継続したい。
- ・ 地球環境保全に対する意識高揚のためにも、より多くの市民に参加していただく必要があり、市の広報誌への掲載、報道機関へのPR等により、水域清掃活動及びゴミの適正処理に関心を持っていただくようにしていきたい。